



## 合同協議会ニュース 【第1号】

第1回合同協議会を、平成22年8月7日(土)に左京小学校図書室で開催いたしました。

案件は、佐保台・左京地域学校規模適正化実施計画(案)における、統合・再編と「認定こども園」制度の導入及び、課題となっていた園児送迎用駐車スペースの確保について、事務局から説明し、質疑応答を行いました。



各委員から次のような質問をいただきました。

(主な意見の抜粋)

委員： 奈良市全体で、学校規模適正の該当地区が何地区あり、どれだけ進んでいるのか。

回答： 平成19年～平成22年の前期計画では、学校規模適正化の該当地区は12地区あり、5地区については取組が進んでいます。

具体的には

- ・富雄南幼稚園は、「認定こども園」のモデル園として、平成21年4月に開園しました。
- ・鳥見幼稚園と右京幼稚園は、それぞれ小学校に併設します。(現在、施設の改修中)
- ・佐保台幼稚園と左京幼稚園を統合・再編し、左京幼稚園に「認定こども園」制度を導入します。

委員： 園児送迎用駐車スペースの確保に向けて、努力していただいているのはよくわかるが、スクールバスは出してもらえないのかと、佐保台地域の未就園児の保護者から要望が出ている。

委員： 昨年度もスクールバスの要望は出ていた。しかし、幼稚園は、義務教育ではないのでスクールバスの費用は無理のようだ。スクールバスの用意が出来たとしても、数年で打ち切られる。その時にまた問題がおこる。それであれば、駐車スペースを確保してもらおう方がいいということで、昨年度の協議会において決定している。

回答： バスを準備したとしても、3～4人しか利用しないという状況が考えられ、協議の中で保護者にとっては、駐車スペースを確保してもらおう方がよいという方向で条件整備を進めています。

幼稚園は、通園区域が決まっていないことや、義務教育でないことから市においても、遠距離通学助成制度がなく、市全額負担のスクールバスの配備は、困難と考えています。

委員： 協議会に未就園児の保護者を入れないのか。未就園児の保護者に情報が流れてこない。

回答： 協議会委員は、地域代表・保護者代表・学校関係者で構成されており、そのうち、未就園児の保護者に情報提供や意見の集約につきましては、地域代表(自治会長や民生児童委員)がその役割を担っていただいていると考えています。また、協議会で話し合われた内容については「協議会ニュース」を作成し、自治会ごとに配布・回覧いただいております。

合同協議会では、統合・再編計画や「認定こども園」制度の導入について、賛成意見も多数いただきましたが、その中で、佐保台地域の方への説明が不十分であったとの意見もあり、より理解を深めていただくために、佐保台地域において、8月25日(水)と9月2日(木)に説明会を実施しました。

